



女子決勝・徳島市立対城南・タブルスを3-1で制した徳島市立の寺本(手前)・秦組
徳島市立体育館(吉本旭撮影)

1年生 勝利の立役者

3年ぶりのV奪還の立役者は、秦だけではない。もう1人の1年生の寺本は第2シングルズ戦に出場し、攻めの姿勢でストレート勝ち。試合を振り出しに戻し、続くダブルス戦では秦とペアを組み、粘り強く球を拾い試合の主導権を握った。寺本は「互いに信頼しているので集中して戦えた」勝利に貢献できて良かった」と胸を張った。

2人は昨年の県中学ランキン
グ1位と2位。新戦力が前評判通りの実力を発揮し、勝利につながった。総合力が高まり、葉田主将は「全員で勝ちに行こう」という雰囲気が出てきた」と話す。チーム力をさらに高め、全国統体での1勝を狙う。

「(自分が勝つて) 終わりたかったのです」「うれしい」。仲間の元に駆け寄り、一緒に喜びを爆発させた。

德島
市立

卓	球
島文理	城東3-0 小松島 聰
【男子】西体・回戦	瀬戸3-0 阿南工 大島西3-1
小松島西	田中 滝野3-0 向洋大 徳島北
阿波、脇町3-12 阿南高專 川島	川島 3-1 吉野川12 回戦 城南3-1 ▽決勝
3-0 名西、新時3-0 那賀、鳴	○小松島西、徳島市立3-1 城
3-0 岡山東、徳島市立3-0 徳	城 南 3-0 徳島西
3-0 岡山東、徳島市立3-0 徳	○城北、宍喰3-0 小松島西、
3-0 岡山西、徳島市立3-1 城	城東、岡山西3-0 海部、城南3-1 町3-12 うき、鳴門瀬戸3-1 2回戦、徳島市立3-10 岡山脇
城 南 3-0 徳島西	2回戦、徳島市立3-10 岡山脇

男子・城南は6度目

德皇甲子年三月
立